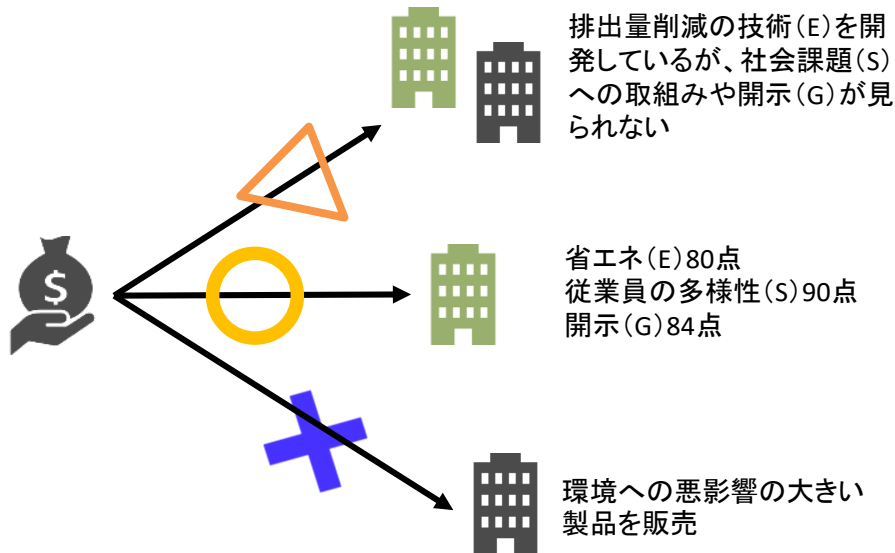


# インパクト投資の概要

- ❑ 脱炭素や少子高齢化等の社会・環境課題の重要性が高まる中で、課題解決に資する技術開発や事業革新に取り組む企業の支援は喫緊の課題となっている。
- ❑ 社会・環境課題への対応は、従来、事業の成長性・収益性と「トレードオフ」の関係にあると理解されることが多かったが、近年、**両者は相互に補完・強化し、両立する好循環を創出し得るとの理解**に立って、**課題解決と事業成長に資する技術・事業の変革等**に取り組む多様な企業が見られる。
- ❑ **「一定の「投資収益」確保を図りつつ、「社会・環境的効果（インパクト）」の実現を企図する」インパクト投資**は、**「投資先と投資効果を個別に特定・コミット」**する点が特徴であり、**好循環を実現させる事業上の変革等を促す**観点から、国際的にも推進の重要性が指摘されている。

## 一般的なESG投資

企業のESGの取組みを総合的に評価し投資比率等を決定、又は**特定業種等を投資先から除外**

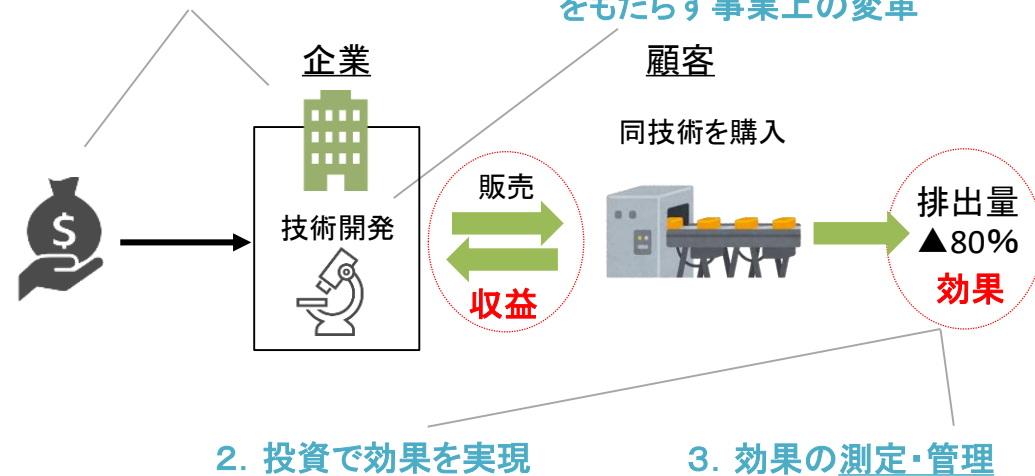


## インパクト投資

投資により**実現を図る具体的効果を特定・コミットし、これを実現する技術革新等を進める企業に投資**

### 1. 効果実現の意図

### 4. 市場や顧客に変化・加速をもたらす事業上の変革



# インパクト投資（インパクトファイナンス）に関する基本的指針の概要

- 金融庁は、23年6月末、**インパクト投資の実現に期待される基本的要素を示した「基本的指針（案）」**を作成。同年10月まで実施された市中協議等を通じて寄せられた国内外の幅広い関係者からの意見を踏まえ、24年3月末に策定。
- インパクト投資の具体的な内容については、**国際的にも民間団体等による様々な文書が存在し、現在も議論の途上**である。本指針では、こうした点や**成長期であるインパクト投資の市場特性を踏まえて、多様な創意工夫を促すよう、インパクト投資に期待される原則的・一般的な要素を取りまとめている**。



投資家・  
金融機関

## 1 意図

- 投資が**実現する「効果」を予め明確化し、戦略を策定**
- 投資の負の効果も特定し、**軽減を図る**

## 2 貢献

- **投資を通じ、具体的な「効果」と事業性を実現**
- 資金面に止まらず、対話等の**非資金面の支援も含め検討・実施**

## 3 特定・測定・管理

- **定量的又は定性的に「効果」を測定・管理し、投資先と継続的に対話**
- 投資・事業関係者に、**投資実績や手法等を共有**

## 4 市場変革等の支援

- 市場や顧客に**変化をもたらす又は加速し得る特性等を見出し支援**
- こうした工夫により、**社会・環境課題への対応と事業性が相互に補完・強化し、両立する好循環を実現し、事業・経済の成長・持続可能性を向上**



上場企業  
スタートアップ等

インパクト



好循環

成長・持続可能性



## (参考) インパクトコンソーシアムについて

- インパクト実現を図る経済・金融の多様な取組みを支援し、インパクトの創出を図る投融資を有力な手法・市場として確立し、事業を推進していくため、投資家・金融機関、企業、NPO、自治体等の幅広い関係者が協働・対話を図る場として、23年11月、官民連携の「インパクトコンソーシアム」を設置。
- インパクト投資等の発信・推進を行う代表的な国際団体とも知見共有・協働を図りながら、24年5月に予定している総会やフォーラム、分科会における議論を通じて、インパクト創出のマーケットに関わる多様な参加者間のネットワーク形成や事例・ノウハウ共有を促進していく。

### 【発起人】

#### (有識者)

- 水口 剛 高崎経済大学 学長
- 渋澤 健 GSG国内諮問委員会 委員長

#### (企業)

- 十倉 雅和 一般社団法人日本経済団体連合会 会長
- 新浪 剛史 公益社団法人経済同友会 代表幹事
- 小林 健 日本商工会議所 会頭
- 米良 はるか 一般社団法人インパクトスタートアップ協会 代表理事

#### (投資家・金融機関)

- 加藤 勝彦 一般社団法人全国銀行協会 会長
- 清水 博 一般社団法人生命保険協会 代表理事会長
- 森田 敏夫 日本証券業協会 会長
- 田島 聡一 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長

#### (自治体)

- 高島 宗一郎 スタートアップ都市推進協議会 会長

### 【事務局】

金融庁、経済産業省

### 【参加者】

インパクト創出に取り組む上場企業・地域企業、取組みを支援する投資家・金融機関、自治体等

## (参考) 当面の分科会構成について

### ① データ・指標分科会

国内外の先行研究等と連携しながら、事例の共有・分析等を行い、中長期的な課題解決・事業性実現等に有効なインパクト指標の設定のあり方、投資実施時のデータの収集・推計方法、社会課題を示すマクロデータのあり方など、データ・指標の項目と着眼点、収集方法等について、議論を行う。中期的には、国際団体等と連携した投資実践に活用できるデータ等の整備を目指す。また、インパクト加重会計の取組みとの連携等を検討していく。

### ② 市場調査・形成分科会

日本のインパクト投資市場の概況を整理し、国際比較や本邦投資家・企業等の特徴も踏まえつつ、裾野拡大を図るべき市場やこのための課題等について議論する。例えば、上場前の又は上場を目指さない企業のインパクト評価、セカンダリー・上場等の出口、多角的な事業を営む上場企業へのインパクト評価、長期投資のあり方等について順次議論を行う。その上で、それぞれの市場に適した・典型的な投資手法や類型等を他のネットワークと連携・橋渡しをしつつ議論・集約・発信していくことを目指す。

### ③ 地域・実践分科会

地域において社会・環境課題への対応を通じた事業の展開・革新等に取り組む企業を念頭に、事業性の理解・評価に際してインパクトを考慮する手法、企業特性に合わせた出資・融資・ベンチャーデット等を含むファイナンスのあり方、支援手法等について、事例共有・ケーススタディ等を通じ議論を行う。中期的には、特に地域を念頭に、インパクトを踏まえた事業性の理解と支援の実践的手法等を議論・集約・発信していくことを目指す。

### ④ 官民連携促進分科会

社会課題が多様化する中で、国や自治体等の行政組織が民間事業者と連携しその課題解決にあたる必要性が増しているところ、特にインパクトスタートアップと連携した社会課題解決の促進について議論する。具体的には、両者のマッチングの場の提供とマッチング後の連携を深めるための座組の検討、事例創出等を目指す。